

長野県環境測定分析協会だより



ナチュラル

NATURAL

発行／長野県知事登録事業者団体 長野県環境測定分析協会

特集 創立40周年をむかえて

Vol. 18
2020.6

「湖畔を彩る」 写真提供：若林 宏光様

写真について一言：志賀高原木戸池にてみんなが歩く道からは見えない影につつじが咲いていた。さらに周り込んでみると湖面に映るつつじと白樺が印象的だった。

ごあいさつ



長野県環境測定分析協会
会長 杉崎 勝明

長野県環境測定分析協会だより「ナチュラル第18号」発行にあたり、日頃より当協会の活動にご支援ご協力いただいております皆様、改めて厚く御礼申し上げます。

この一年を振り返りますと、皇太子徳仁親王殿下が5月1日、第126代天皇に即位され、元号が「令和」に改まりました。また8月にゴルフの渋野日向子が全英女子オープンで初優勝、9月にはラグビーワールドカップ日本大会が開催され、日本代表は初の8強入りを果たす快挙を成し遂げ、日本中が大変盛り上がりました。10月に消費税率が改定され、軽減税率の適用等で多少混乱はあったものの、令和の時代は明るいかと思っていた矢先、長野県では10月12日台風19号が千曲川流域の決壊を引き起こし甚大な被害を引き起こしました。当協会も長野市でのアスベスト気中濃度調査に全面協力させていただきましたが、まだその復興も半ばで中国から発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は世界各国に拡大し、

令和2年3月11日世界保健機関(WHO)で「パンデミック」宣言、3月24日に東京オリンピック・パラリンピックの延期、4月7日に安倍総理から「緊急事態宣言」が出され、4月30日現在の公表値で、国内感染者は14,088名(死亡者数415名)となっており、長野県内でも感染者が増加し、「不要不急の行動の自粛」や「3密の回避」など取り組みが迫られています。

このような状況下で始まった新年度は、今後の社会情勢や経済状況をも踏まえ、大変厳しい年度となると予想されます。当協会で開催する講習会も含め、事業が計画通りに行かないことも多々あるかと思いますが、会員の皆様には当協会の事業を有効に活用していただき業務にお役立ていただければと思います。

最後に県をはじめ行政の方々、信州大学並びに(一社)日本環境測定分析協会の皆様には、当協会の活動にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。昨年度、当協会は発足40周年を迎えました。多くの皆様からのご祝辞に改めて感謝申し上げます。50周年へ向けてまた一年着実に進めて参りますので、皆様には今後とも変わらぬご支援ご指導をお願い申し上げます。



長野県環境部
環境部長 猿田 吉秀

長野県環境測定分析協会の皆様には、日ごろから本県の環境行政の推進に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、技術研修会の開催、県主催の精度管理事業や測定分析研修会への参加等により、会員の技術力向上に努められていることに対しまして、敬意を表します。

さて、県では、総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2・0」並びに「第4次長野県環境基本計画」に基づき、自然環境の保全や環境負荷の少ない社会づくりに取り組んでおります。これらの計画においては、国連が定めた「SDGs(持続可能な開発目標)」の考え方を取り入れ、経済・社会・環境の課題の統合的解決を通じて、持続可能な地域づくりを進めております。

また、今年3月には第6期野尻湖水質保全計画を策定したところで、野尻湖では、平成6年に湖沼水質保全特別措置法に基づく指定を受け、以降5期25年にわたり湖沼水質保全計画を策定し、総合的な水質保全対策を実施

してきました。その結果、全窒素及び全りんは改善し環境基準を達成しましたが、CODについては環境基準の達成に至っておりません。このような状況から、引き続き野尻湖の水質改善を図るため、関係市町村、団体及び県民の理解と協力を得て、生活排水対策、流出水対策、調査研究の推進、環境学習の推進及び環境保全意識の啓発などの取組を、第6期計画に基づき総合的かつ計画的に進めてまいります。

諏訪湖につきましては、「諏訪湖創生ビジョン」に基づく取組を進めているところであり、今年度は諏訪湖の貧酸素発生メカニズムの解明に向け、湖内の水の動きなどの調査を実施してまいります。

今後、県において効果的な施策を実施していくためには、さまざまな調査等により得られた適時適切な測定データ等に基づき、事象の要因分析を的確に行うことが不可欠になります。このため、分析機関に対しましては、精度の向上や測定分析能力の向上により、測定結果の一層の信頼性を確保していくことが求められております。

協会の皆様におかれましては、本県の環境保全のため、引き続き、御尽力を賜りますようお願いいたします。結びに、貴協会のますますのご発展を心より祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。



長野県環境保全研究所 所長 吉原 英樹

今年の4月から長野県環境保全研究所長を務めております吉原英樹でございます。どうぞよろしくお願いたします。

長野県環境測定分析協会の皆様には日頃から当研究所の業務にご理解とご協力を賜っていることに対し、厚く御礼を申し上げます。

当研究所は「長野県の豊かな環境の保全と保健衛生の向上を図るため、行政施策を技術的にバックアップできる体制と技術・知識の向上に努め、県民に開かれた信頼される研究所」を目標として、今日的な行政課題に対応する研究課題に取り組みとともに、環境教育研修、情報発信等の業務に取り組んでおります。

環境分野における当研究所の業務内容としては、安茂里庁舎では、諏訪湖をはじめとした湖沼などの水質測定や水質保全対策、大気中微小粒子状物質を始めとした大気汚染物質の測定、新幹線鉄道騒音振動調査、廃棄物最終処分場に係る浸出水や地下水の調査、アスベストの環境モニタリング、放射性物質

の測定などを実施しています。また、飯綱庁舎では、長野県の生物多様性の保全等に関する調査研究や地球温暖化等の気候変動影響の実態把握や適応策に関する調査研究などを実施しています。

なお、昨年4月1日には気候変動適応法に基づき「信州気候変動適応センター」を当研究所と県環境部環境エネルギー課*に共同で設置いたしました。今後このセンターが中心となり、農業、防災、生態系、健康など各分野において、信頼できるきめ細かな情報に基づく効果的な適応策の創出を支援してまいります。

保健衛生分野では、今般の新型コロナウイルスに係る検査や、インフルエンザ、麻疹などを対象とした感染症の流行予測調査及び発生动向調査、食品中の残留農薬検査や医薬品、家庭用品などの検査業務を行っております。

協会の皆様におかれましては、当研究所の実施する事業における様々な場面で、共に行政の技術的なバックアップを行い、長野県の豊かな自然環境の保全と安心・安全な県民生活のため、これまでも一方ならぬご協力とご支援を賜ってまいりました。心より感謝申し上げますとともに、今後の引き続きのお力添えをお願い申し上げます。

結びにあたり、貴協会の今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念いたします。ご挨拶とさせていただきます。*令和2年4月から環境政策課に移管



長野県計量検定所 所長 美谷島 和浩

長野県計量検定所長の美谷島和浩(びやしまかずひろ)です。

長野県環境測定分析協会の皆様には、日頃から本県の計量行政の推進に御理解と御協力を賜り、昨夏の40周年式典にもお招き頂きましたことと併せ、改めてお礼申し上げます。

元号「令和」で迎える最初の新年度は、新型コロナウイルス災禍による本邦未曾有の国難下で推移しています。

平時からの危機管理の重要性を認識するとともに、一刻も早い感染の収束と経済の再生を祈る日々です。

さて4月現在、当所の本年度業務において、「特定計量器(非自動はかりほか)定期検査」5月スタートに向け、実施場所37市町村様との調整を進めました。

また、貴会員事業所様と関連深い「計量証明検査(環境計量器)」も、5月・10月計画にて、移動検定車をJQA(一財)日本品質保証機構)に手配しました。

今後情勢での流動要素もございませぬが、皆様への本誌お手許時点においては、予定どおり着手したか日程繰り延べたか(延期)、落着いております。

このように、外部環境による変動要素も抱える中、計量法に基づく検定・検査を、適切な時期・場所・方法で行えるよう意思決定し、危険に対するリスク低減に注力しつつ進めます。

事業実施の都度、内外ステークホルダーへの明快・平易な説明に努めることは、申すまでもありません。更に、一連の流れで培った知見・工夫(改善)について、有事が終われば後戻りせぬよう、所内でのノウハウ蓄積・見える化・標準化も進めますので、倍旧にてよろしくお願いたします。

結びに、貴協会の一層の御発展と会員の皆様の御健勝を心より祈念申し上げます。御挨拶とさせていただきます。



特集 「創立40周年をむかえて」

記念事業として協会ポスターをリニューアル



当協会の事業をイラストイメージで表現した協会ポスターを、創立40周年の記念事業としてリニューアルしました。

協会会員の事業対象である自然や生活環境、工場などの測定や調査の対象物を一枚のイラストにまとめたこのポスターは、長野県の自然環境と、そこに暮らす人々の快適で健康的な生活環境が、調和を保ちながらいつまでも持続していけるようにとの願いを込めて作られています。アルミフレームに納められたB1サイズのポスターパネルは、購入を希望された会員のみなさまに頒布されました。

2019年6月6日 記念式典開催



杉崎会長挨拶

環境計量に関する技術の向上と、適切な環境計量を実施し、もって生活環境の保全と改善に資することを目的として、昭和53年5月に長野県内の環境計量証明事業所の協調団体として創立されてから40周年を迎える記念式典が6月6日にホテルメトロポリタン長野にて開かれました。会員関係者ら約50人を超えるご列席をいただき、数多くのご来賓からの祝辞を賜るなか功労表彰や記念講演が行われ、協会の歴史を振り返るとともに地域環境へのさらなる貢献へ決意を新たにしました。

式典は、長野県環境測定協会会長 杉崎勝明氏から、県との災害時の被災建築物アスベスト(石綿)調査に関する協定の締結に関する報告とともに、長野県の環境問題における当協会が担う役割や求められる技術力の更なる向上、そして誠意を持って力を発揮していくとの挨拶で開式しました。

功労表彰では、長野県知事表彰として株式会社信濃公害研究所(代表取締役社長 大島明美)が、長野県環境測定分析協会功労表彰として、株式会社環境技術センター 代表取締役社長 勝野宗一氏、株式会社公害技術センター 顧問 酒井今朝重氏、株式会社科学技術開発センター 代表取締役社長 若林恒雄氏、株式会社エスコ 代表取締役社長 北條敏彦氏ら4名の方が表彰されました。受賞された方々からは、環境分析に携わってきた先人達の現在に至るまでの苦労や喜びが紹介され、積み重ねられた歴史の上に今の私たちがいることを忘れてはいけないと身が引き締まる思いがいたしました。

記念講演では、長野県環境部 部長 高田真由美氏より、近年世界的に問題となっているプラスチックごみの削減を交えながら、長野県の環境政策に係る取り組みについて紹介され、今後の政策推進には、環境に関する教育が重要であるとともに、当協会を始めとした関係団体との連携が必要不可欠であるとのお話を頂きました。

また、今回の式典を記念して、当協会のパネルを一新してお披露目しました。長野県の豊かな自然に抱かれて暮らす人々の快適な生活環境が、今後の更なる産業発展と調和を保ちながら次世代の子供たちへ引き継がれていくことを願うとともに、当協会が担う役割を表した図柄となっています。(河合)

令和元年度事業報告

令和元年度は当協会が40周年を迎えた節目の年です。

日進月歩の勢いで進む技術革新の中、分析技術の向上・信頼性の確保に40年間にわたり取り組んでまいりました。

令和元年10月の台風19号は、長野県内各地に甚大な被害をもたらしました。当協会としては、災害発生後の11月から本年3月まで被災地の災害廃棄物仮置場など十数カ所で大気中アスベスト濃度調査を毎月実施するとともに、当協会が窓口となって、被災家屋に敷設された石綿含有建材の調査を受け付けするなど、石綿粉じんの飛散防止にかかる調査・啓発を実施しました。

山梨県、新潟県、長野県の計量証明事業所が交流し、技術の充実と健全な発展に資することが目的の「甲信越環境測定分析機関連絡協議会」を今年度は長野県が当番県として諏訪市で開催しました。

17機関28名が参加し、各県単の活動報告、情報交換、意見交換では「経営の安定化に向けて我々は何をなすべきか」というテーマで熱い議論を交わしました。

令和元年度は会員、賛助会員の皆様のご協力のもと無事終えることができました。令和2年度も引き続きよろしくお願い致します。

(事務局 梅垣和彦)

第19回

長環協ゴルフコンペ開催

総務部会

令和元年9月28日
(土曜日)に第19回長環協ゴルフコンペが長野県塩尻市にある塩嶺カントリークラブで開催されました。



前日の天気予報では午後から雨とのことでした。そのせいで朝から曇っていましたが日頃の行いが良いのか？何とかラウンド終了まで天気はもってしまいました。

今回は山梨・新潟・長野県の3県の計量証明事業所の皆さまと日環協関東支部から2人の参加により合同親睦コンペが5組20名により執り行われました。

前日からの会議に引き続きが他県の皆さんと親睦を深める事が出来ました。

優勝者は佐藤隆氏(日本環境測定分析協会関東支部)・準優勝者は百瀬浩徳氏(アズサイエンス株式会社)でした。

ゴルフは生涯スポーツです。皆様のご参加をお待ちしています。

- ◆開催日/令和元年9月28日(土曜日)
- ◆競技方法/18ホール・新ペリア
- ◆会場/塩嶺カントリークラブ
- ◆費用/プレー・飲食費各自負担
- ◆競技結果

順位	氏名・所属	OUT	IN	GROSS	H.C.	NET
優勝	佐藤 隆 日本環境測定分析協会 関東支部	48	39	87	15.6	71.4
準優勝	百瀬浩徳 アズサイエンス株式会社	48	39	87	14.4	72.6
3位	武田淳志 一般社団法人 長野市薬剤師会	47	39	86	12.0	74.0



優勝者

インタビュー

令和元年度 甲信越環協連&長環協合同親睦ゴルフコンペに参加して

令和元年9月27日(金)諏訪湖畔のRAKO華乃井ホテルにて新潟県・長野県・山梨県3県単による日環協・関東支部甲信越環境測定分析機関連絡協議会が開催されました。今回、私は関東支部副会長の立場として、甲信越皆様の県単活動を勉強させて頂いた他、関東支部全体の事業活動についてご報告させて頂きました。

翌日、諏訪湖の北西に位置する塩嶺カントリークラブにおいて親睦ゴルフコンペに参加させて頂きました。曇天の中、練習グリーンにて大きく深呼吸をしたところ、東京では味わえない瑞々しくも澄んだ空気に秋の気配が感じられる信濃路を満喫させて頂きました。

元来、エンジョイゴルフ派なので、前半は同伴競技者である杉崎様、金子様、中山様らとワイワイ賑やかにプレイさせて頂きましたので、いつものスコアでしたが、後半は全てラッキーなバーディーが3つ取れたので、今年最高のハーフ39で上がれました。成績順位では、2位の百瀬様と前後半とも同スコアでしたがHDCCPの差で優勝させて頂きました。

正に、メンバーとハンデに恵まれた記憶に残る優勝となりました。関係者の皆様、本当に有難うございました。

日本環境測定分析協会関東支部 副会長 佐藤 隆

研修会参加レポート

専門研修に参加して

環境未来株式会社

保健衛生検査部 水道検査グループ 北原 香

高速液体クロマトグラフの研修に参加させていただきました。

研修では、機器の原理やしくみの講義や、農薬分析の実習をご指導いただきました。

分析時の注意点や分析後の機器のメンテナンス等、基礎から丁寧に教えていただき、普段自分が行っている操作手順を確認する良い機会になりました。機器の原理やしくみは細かな所まで教えていただき、とても勉強になりました。機器トラブルが起きた際は、この講義を思い出して、原因の追究を行いたいと思います。

また、少人数だったこともあり、疑問点をその都度質問することができ、大変有意義な研修でした。

この研修で学んだ事を日々の検査業務に活かしていこうと思います。このような機会を設けていただきありがとうございました。

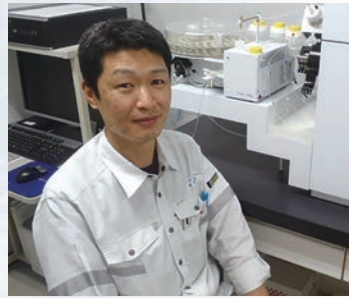
我が社のスペシャリスト

〔第4回〕

金属分析のスペシャリスト

一般社団法人長野県労働基準協会連合会

松本測定所 主任技師 瀧澤 修



臨床検査技師である私は、今から20年ほど前に入社し、今の仕事に就きました。

入社した頃は、環境分析について全く分からず職場の先輩方に質問する日々で

した。またICP発光分析装置の担当を任せられオペレーターとしてうまく扱えず、分析機器メーカーに相談しながら毎日悪戦苦闘していました。

これまでを振り返りますと、分析機器が発達しPC制御で、誰でも簡単な作業で測定値は得られるようになりました。ただ、その測定値から分析値を得るためにはさまざまな検討が必要です。例えば金属分析では、いくら高性能な分析機器があったとしても、前処理の知識や技術がなければ正しい分析値は得られませんし、分析機器から得られる測定値を正しく理解し、適切な処理をしなければ誤った結果になってしまいます。

環境分析全般に言えることですが、常日頃から情報収集をして、スキルの向上に努めそれを継続していくことが必要だと考えます。

環境分析の道を歩み始め先はまだまだ見えていませんが、これからも歩み続けて行こうと思っています。

事業所訪問

〔第18回〕

一般社団法人長野市薬剤師会 検査センター（長野市）

長野市薬剤師会検査センターは薬剤師会員により昭和50年に長野市若里に設置されました。長野県内4か所の薬剤師会検査センターと連携を図り分析業務を行ってまいりましたが、施設の老朽化と内部が手狭になってきたため、平成27年8月長野市アークスに長野市薬剤師会館を建設し事務局とともに検査センターも移転しました。

検査センターでの検査の内容は、水質検査、産業廃棄物・土壌検査、室内空気検査、食品・原材料検査などです。

厚生労働省の医薬品試験検査機関の登録も受けており、各種医薬品、医薬部外品、医療機器などの試験検査もしています。薬局で造られた薬局製剤が規定通りの成分や量が含有されているか、不純物が含まれていないかなどの日本薬局方に基づいた検査を行います。

水道水質検査は厚生労働省登録検査機関として市町村の上水道や簡易水道、専用水道などの水道水を定期的に検査しています。

水道水質基準には現在基準項目として51項目が決められており、これを定期的に検査することにより安全が確保されます。基準項目には、鉛、カドミウムなどの有害金属、トリクロロエチレン、トリハロメタン

などの発がん性が疑われる有機ハロゲン化合物、その他水道水としての機能上求められる項目として、着色の原因となる鉄・マンガン等、泡立ちの原因となる界面活性剤類、臭いの原因となるフェノール類、カビ臭物質などが含まれています。

これらの項目がすべて基準を満たしていなければ、水道水として供給する事ができません。検査センターでは飲用される地域住民に安全な水が供給されるよう、日々検査と事業体への助言を行っています。

なお、当センターでは井戸水検査をおすすめするポスターを作成し、北信地域の薬局に掲示しています。自宅で井戸水等をお使いの方が水質検査の必要性を理解され、安心して利用いただけるようにこれからも啓発活動を行っていきたく思います。

また、試験所認定規格のISO17025を取得し、正確で信頼のおける試験検査結果を提供できるように努めています。



編集後記

2019年10月の台風19号により長野県においても甚大な被害が発生しました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

時代は平成から令和となり、2020年夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。……という記事を当初書く予定でしたが、新型コロナウイルスが世界的に猛威をふるい、混乱と不安の中、先が見えない中で経済活動、日常生活に大きな影響が出ており、世界的規模で多くの方が亡くなるというかつて経験したことのないような状況によりオリンピックも延期という事態に至っております。

目に見えないもの恐怖と不安が対岸の火事ではなく、身近な影響となつて直接日本、長野県にも及んでおります。

新型コロナウイルスによる経済的影響も大きく、世界的に経済は急減速し、当県においても観光業への打撃、サプライチェーンの混乱等多大な影響が出ております。

現時点では新型コロナウイルス感染の収束の見通しは立たず、先行きへの不安が募るばかりですが、早期に収束し、感染による死亡者が出ることなく、世界経済の回復と共に、1年後には東京オリンピック・パラリンピックが無事開催され、世界の多くの方が楽しめるイベントとなるように祈るばかりです。

最後に本号においても制作にあたり多くの方に協力いただきました。改めてお礼を申し上げます。

（川井）

発行 長野県環境測定分析協会
編集 総務部
〒384-0205
北佐久郡立科町甲1-8-65-1
(株)信濃公害研究所
TEL0267-562100
部長 大島明美 (国信濃公害研究所)
副部長 河合 毅 (中部公衆衛生研究所)
部員 川井 徹哉 (環境未来塾)
田中 徹 (信濃公害研究所)
飯田 淳志 (長野市薬剤師会)
制作 有限会社 スイッチャー
TEL 026-2601-0000 担当 榎井

さまざまな環境問題の
調査・測定・コンサルティングを通じて
長野県民の大切な生活環境を守ります。



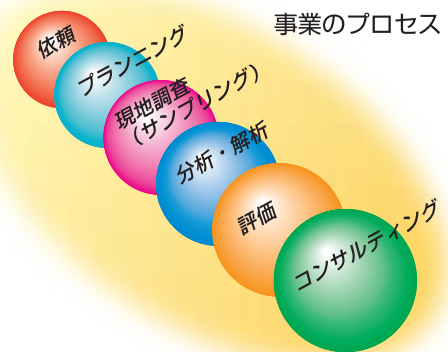
長野県知事登録事業者団体

長野県環境測定分析協会

長野県環境測定分析協会は、長野県内の環境計量証明事業登録事業所の協調団体として、昭和53年5月に創立されました。当協会は、「環境計量に関する技術の向上と、適切な環境計量を実施し、もって生活環境の保全と改善に資する」ことを目的としております。また、行政機関その他の関係団体との連携を深めることを通じて、環境計量の技術専門者として鋭意努力を重ねています。

自然の声に耳を傾け、それを正確に理解する。
本当の環境保全は、まずここから始まります。

環境保全を図るためには、まず環境の汚染状況を客観的に把握し、汚染の状況に応じた有効な手段を講ずる必要があります。私たちは、環境汚染等を適正に計量するための計量法に基づいてさまざまな調査・測定・分析を行い、その結果を「計量証明書」として作成、報告いたします。また、これらをもとに環境影響評価やコンサルティングなどの総合的なサービスもご提供させていただきます。



長野県環境測定分析協会正会員一覧

北信
 (一社)長野市薬剤師会 検査センター
 ユートピア産業株式会社
 株式会社 ネイテック
 (一社)長野県労働基準協会連合会
 株式会社 科学技術開発センター
 (一社)長野県農村工業研究所
 直富商事株式会社 環境計量証明事業所
 株式会社 エスコ

中信
 株式会社 環境技術センター
 (一社)長野県薬剤師会 検査センター
 有限会社 林薬局
 株式会社 公害技術センター
 環境未来株式会社
 株式会社 環境科学

東信
 株式会社 信濃公害研究所
 (一社)上田薬剤師会 検査センター
 株式会社 東信公害研究所

南信
 株式会社 コーエキ
 (一社)上伊那薬剤師会 検査センター
 (一財)中部公衆医学研究所
 南信環境管理センター株式会社

賛助会員

岡谷酸素株式会社 / 丸文通商株式会社 / 高山理化精機株式会社 / タカヤマケミカル株式会社 / アズサイエンス株式会社 / 株式会社 理学株式会社 ミライ化成 / ビーエルテック株式会社

長野県環境測定分析協会事務局 〒394-0031 岡谷市田中町3丁目3-24(株)コーエキ内 TEL.0266-23-2155 FAX.0266-23-0733